果樹のリリーフ園制度を確立し、就農1年目から収益を得る体制を整備

芦北地方農業振興協議会（熊本県）

【トレーニングファームの概要】

●所 在 地：熊本県 水俣・芦北地域（水俣市、芦北町、津奈木町）
●研修品目：果樹（デコポン、甘夏等）
●研修人数：毎年度５名程度
●研修要件：研修終了後、水俣・芦北地域において就農すること
研修開始時の満年齢が原則18歳以上、50歳未満　等
●研修内容：座学研修、実践技術研修等（1年以上２年以内）

研修ほ場（リリーフ園地）

●研修ほ場：リリーフ園地(離農や規模縮小する農家から園地を引き継ぎ、研修生の実習園地として活用し就農時にそのまま継承)
●取組の背景：芦北地方農業振興協議会は、地域の担い手を確保するために、熊本県（芦北地域振興局）、市町、ＪＡあしきた、市町農業委員会、農業公社で構成し、農業振興に取り組んでいる組織。
平成30年に「新たな担い手確保プロジェクトチーム」を設立し、デコポン、甘夏等を主体に新たに農業を始める者を、相談から就農・定着まで総合的なサポートを実施。
●ホームページ：https://ashinoushinkyou.jp/

新規就農までの流れ

研修生募集
・就農フェアへの出展　SNSによる情報発信
・産地見学会、短期研修(2～3日程度)の実施

研修・育成
・座学研修(栽培技術・経営等の基礎知識等)
・実践技術研修(実習園地での栽培技術等)
・その他(農村生活・交流等)

就農支援
・就農園地、機械、施設、住宅等の斡旋支援
・地域内農業者との交流やプロジェクトチームメンバーとの意見交換を実施

就農・定着
・園地の巡回等による技術支援
・就農者と個別面談を行い、悩みや課題解決に寄り添うなど就農定着を支援

サポート体制

芦北地域振興局 農業・普及振興課
○産地コーディネート
○関係機関連携・支援
○課内部門横断業務の調整
○若手普及指導員の育成

農業公社
○農地貸借支援
○新規就農アドバイス

芦北地方農業振興協議会（プロジェクトチーム）
○就農フェア出展
○産地見学会・短期研修
○就農相談
○就農・定着支援

各市町農業委員会
○農地紹介

ＪＡあしきた
○営農指導
○就農準備研修
○農地確保

水俣市・芦北町・津奈木町
○農地紹介、継承支援
○住居紹介
○定住支援

リリーフ園制度の流れ

出し手（後継者不在）園地を貸したい人

■後継者がいない
■耕作中止

プロジェクトチーム

継承するまで一時管理

■研修園地として活用
■新規就農者の就農地を確保

新規就農者

就農時に園地を継承

■研修地＝新規就農地
■就農1年目から収益を得ることが可能

成果・実績

・研修受講者の就農率は100%。令和5年度末までに、新規就農者及び研修生のべ28名を継続的に支援するとともに、リリーフ園を含めた園地820aを新規就農者に継承。
・リリーフ園制度の確立と地域一体型の就農支援体制の実現により、新たな担い手の確保と産地維持に大きく貢献。引き続き地域農業の総合的発展に寄与できるよう活動を進めていく。